超軽量金属探索機　M130

取扱説明書

このたびは超軽量金属探索機 M130 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

●ご注意

この探索機をご利用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

この探索機の使用目的以外には使わないでください。

お客様による修理・分解はできません。修理は株式会社グッドマンへお願いします。お客様による改造は保証の対象外となります。

M130 について

超軽量金属探索機 M130 は制御部とハンドルシャフトで結合されたアンテナが 1 体となった探索機です。

電源

単三アルカリ電池 4 本を使用します。ニッカド充電池もご利用いただけます。本体はじにある電池カバーを外し極性に注意して電池を挿入してください。

作動

コントロールダイヤルを OFF から ON に回転させると電源が入ります。アンテナを金属類から十分遠ざけた状態で電池状態を確認します。LED が赤く点灯もしくは周囲に金属類がないにもかかわらず本体がウィンウィンとうなる場合は、新しい電池と交換してください。(充電電池の場合は充電してください。)

再度アンテナを金属物から遠ざけたまま、コントロールダイヤルを低周波のブザー音が鳴るか鳴らないかの境界になるように調節します。これは最も高感度の設定です。探索中、状況に応じてダイヤルの位置を戻すことで感度を下げることができます。

金属物が感知されたら、周波数がたかまりウィーンという発信音が鳴り LED が発光します。

アンテナでもっとも感度が高い箇所は中心部です。

超軽量金属探索機 M130 は小金属(銀箔、ネジ等)排除回路が内蔵されており、アンテナがこれら小さな金属上にあっても反応しないようになっています。

作動中は、面積の大きなガラクタを拾わないようにするためアンテナを地表から 100～150ｍｍ離して探索してください。

マンホールカバーの周囲などはアンテナを物体の端から向かい側の端まで動かすことで検出できます。その時信号の発生した地点をマークします。

さらにコントロールダイヤルを少し戻すと（感度を落とす）対象物の端が簡単に識別できます。

ご利用後

電池を長持ちさせるために、使用中以外はスイッチを OFF にしてください。長い間ご利用にならない場合は電池を本体から取り外してください。